



ISAP 2025

持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム

# インタラクティブ会議-1 (IS-1)

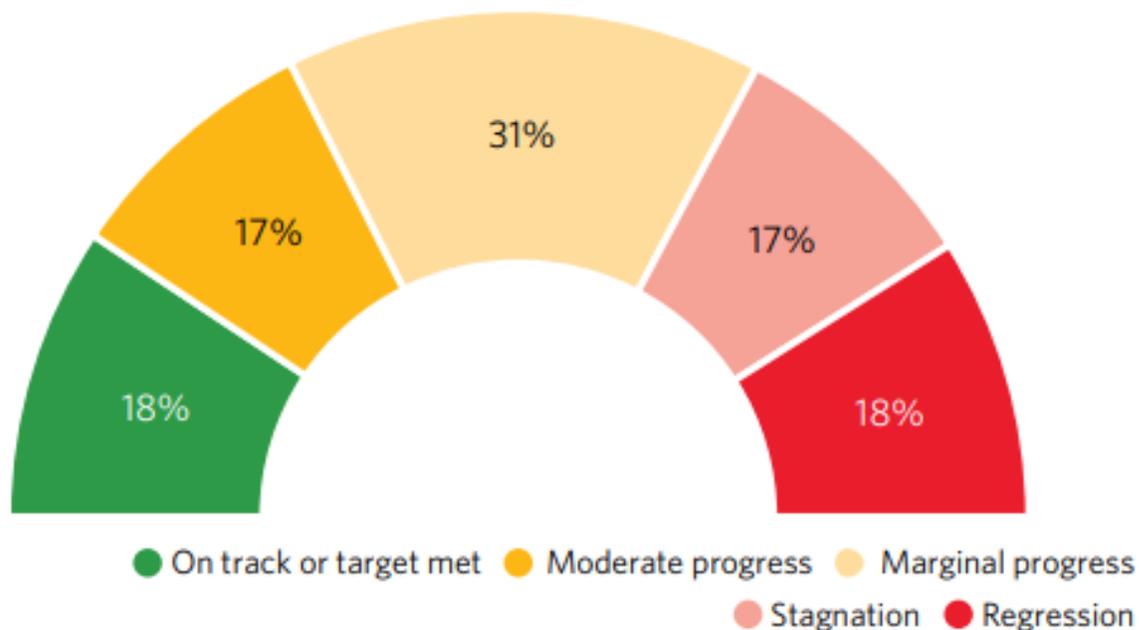
## 環境・サステナビリティ分野における 若者の意味ある参画に向けた協働の道筋

IGES サステナビリティ統合センター  
主任研究員 福田 美紀

# SDGsの進捗状況

世界はSDGsの約束を果たせなくなりつつある

Overall progress across targets based on 2015-2025 global aggregate data



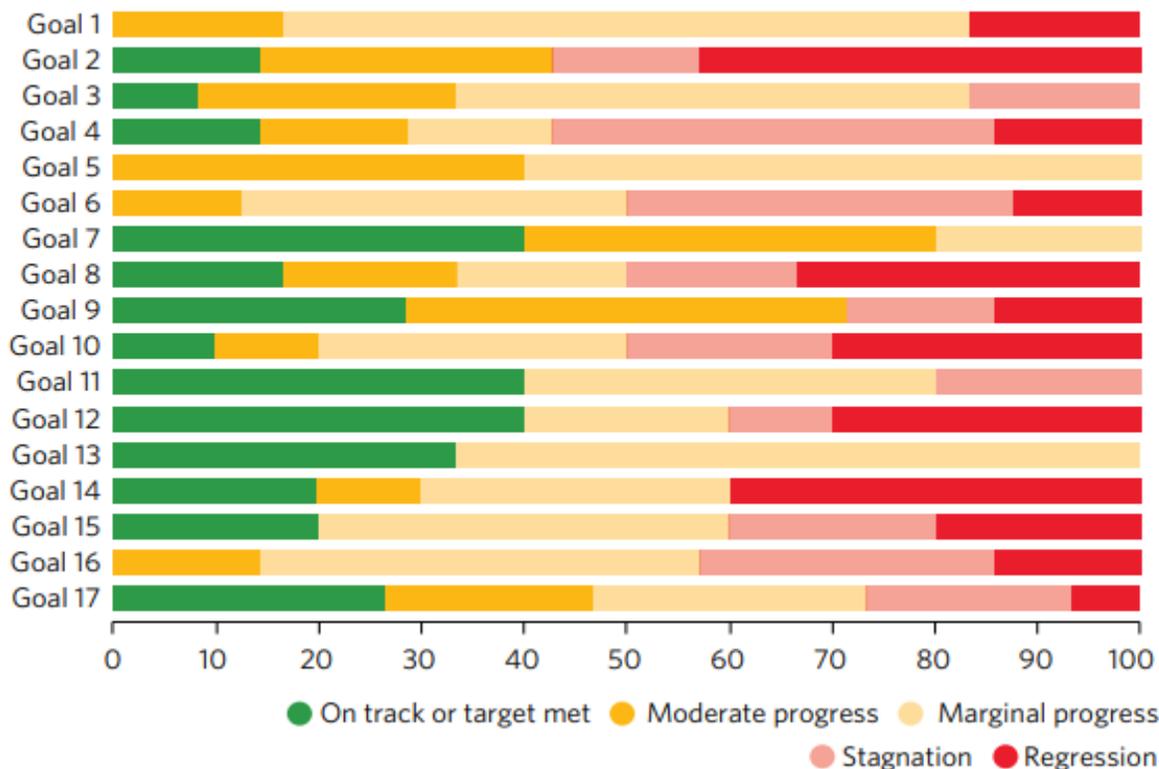
- 「SDGs報告2025」2030年まであと5年。達成への軌道に乗っているのはターゲットのうち約18%に留まる
- アジェンダ2030／パリ協定いずれも達成する軌道には乗っていない

UNDESA (2025) “SDGs Report 2025”  
<https://digitallibrary.un.org/record/4085123?v=pdf>

# SDGsの進捗状況

世界はSDGsの約束を果たせなくなりつつある

Progress assessment for the 17 Goals based on assessed targets, by Goal (percentage)



- 順調に進んでいる「緑」よりもピンクの「停滞」や赤「後退」の方が目立つ
- 特に環境分野のゴール(6, 13, 14, 15)の進捗が芳しくない

UNDESA (2025) “SDGs Report 2025”  
<https://digitallibrary.un.org/record/4085123?v=pdf>

# グローバルレベルでの議論 国連「未来サミット」(2024年9月)

## 成果文書

- 「未来のための協定 (Pact for the Future)」

## 付属文書

- 「次世代のための宣言 (Declaration on Future Generation)」

グローバルおよび国レベルでのユースの  
「意味ある参画」の強化について合意



## 日本における様々なユース参画の取組

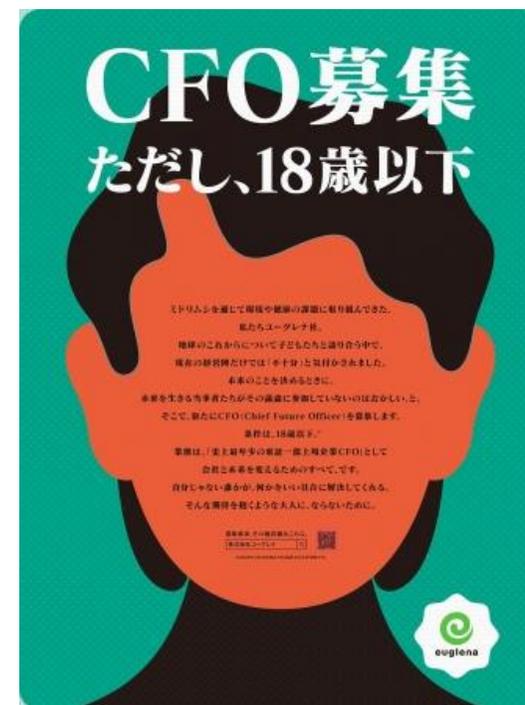
### 省庁、県・市町村レベルの行政、民間企業などがユースから意見を聞く試みの例

- 「こども家庭庁」の設立（2023年）
- 環境省：ユース団体との意見交換・政策提言手交
- 兵庫県「ひょうご環境未来会議」の開催（2024年）
- 民間企業：最高未来責任者（CFO）の設置

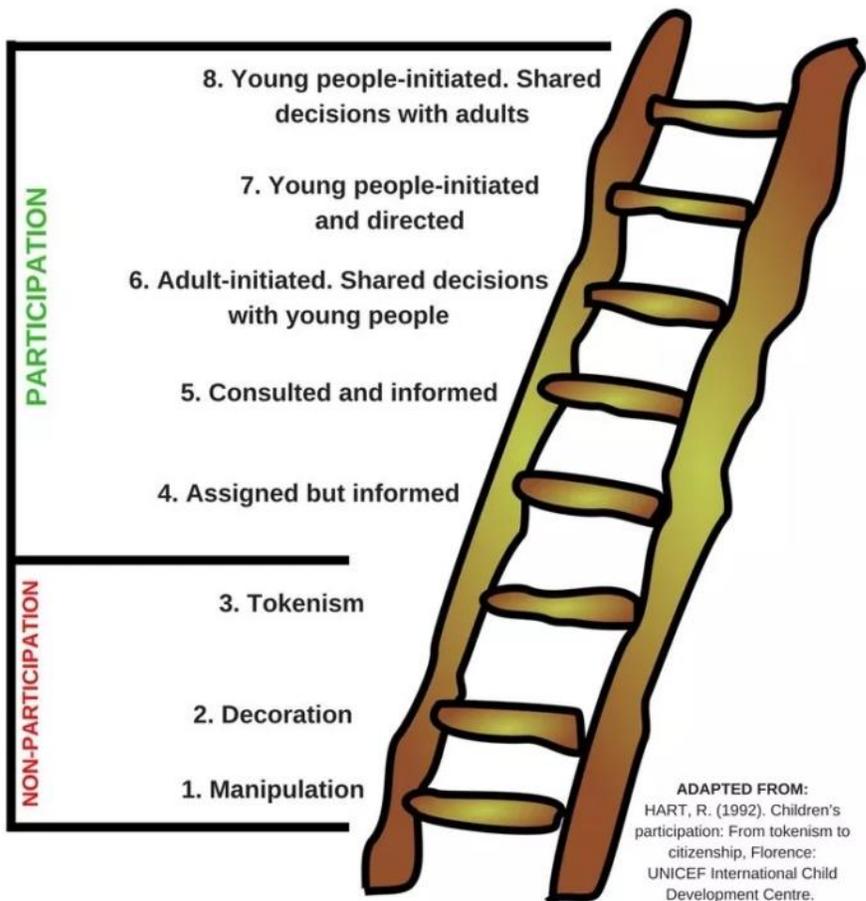
### 量（機会）は増加しているが・・・

- しかし、“質”の議論はなされているか？
- どのようなユースが、どのように参画しているか？
- 「若者を招いて意見を言ってもらおう」 → 次の段階へステップアップする時期では？

(株)ユーグレナ  
CFO募集広告



## ユース参画に関する既存の研究や実践など



- ⑧ ユースが主体的に取り組み、大人と共に決定
- ⑦ ユース主導の活動
- ⑥ 大人主導の意思決定にユースも加わる
- ⑤ 大人主導でユースが意見聴取される機会がある
- ④ ユースに特定の役割と情報が与えられる
- ③ 参加内容・方法に選択の余地がない形式的な参加
- ② 大人の主張を助ける「お飾り」参加
- ① 主張を正当化するために大人側が若者を利用

# SDGs実施におけるユース参画の比較研究から

環境省・(独)環境再生保全機構環境研究総合推進費(JPMEERF2022IM03)

- 形式的な意見聴取に留まらず、より実質的な影響力を行使できるようなユース参画の仕組みの構築が肝要
- SDGs実施におけるユース参画の比較研究から「意味のある参画」を促す要素として以下の4つを特定した(Fukuda and Zusman 2024)。
  - 1) 参画の目的・意義の明示、2) ユースと大人の権限の分担、3) 透明性と説明責任の担保、4) 必要に応じた支援の提供
- 「公正な移行」の議論では、気候・環境負荷が脆弱層に集中するとの指摘も。当事者の意見が政策に反映される参加型の仕組みが重要。ユースを含む、脆弱で社会的に疎外された立場の人々の効果的な参加には、意見表明に必要な知識・スキル習得や、時間・金銭面のソフトとハード両面の支援が不可欠(Zusman et al. 2025)。



# ISAP 2025

International Forum for Sustainable Asia and the Pacific

インタラクティブ会合 1 (IS-1)

🕒 13:20 - 14:50

環境・サステナビリティ分野における、若者の意味ある参画に向けた協働の道筋

## 若者 (ユース) 参画の意味ある協働のかたち



矢動丸 琴子

一般社団法人NatureLit Japan 代表理事



鈴木 渉

環境省 自然環境局  
生物多様性戦略推進室長



瀬尾 隆史

日本環境教育フォーラム 事務局  
シニアアドバイザー



福田 美紀

IGES サステナビリティ統合センター  
主任研究員 / レンズ・ファシリテーター



# ISAP 2025

International Forum for Sustainable Asia and the Pacific

インタラクティブ会合 1 (IS-1)

🕒 13:20 - 14:50

環境・サステナビリティ分野における、若者の意味ある参画に向けた協働の道筋

## Green Future Makers：変革へのアクションプラン

山崎 泰士

長野県立長野高校 学生

森山 遥月

国際教養大学 国際教養学部 学生

宇佐 碧

Global Shapers Yokohama hub